



日 時	平成 24 年 3 月 17 日(土) 9 時 30 分～12 時
場 所	新赤坂事務所：港区赤坂 2-10-17 石原ビル 2F
出席者	出席：川村、土屋、青木、竹政、岩下、平山、木村、丹下(監事)、日野(監事) (skype): 正岡、神野、西川
欠席者	委任：金城、阪井(議長)
議 題	特別事項 審議事項 1 書記・承認者指名 (会長) 2 2 月度議事録確認 (総務部会) 3 会員入会承認・退会確認 (会員部会) 4 2011 年度着地/2012 年度予算内容再確認 (会計部会) 5 2011 年度事業報告書進捗確認 (企画部会) 6 総会での会員表彰の提案 (総務、渉外) 7 広報部会業務のバックアップについて (広報部会) 8 「PE マニュアル(仮称)」草稿レビュー (渉外部会) 9 名古屋地区での PE セミナー (正岡) 10 報告事項 1 PE/FE 合格祝賀会報告 (会員部会) 2 Engineer's Creed カード作製 (会員部会) 3 京都技術士会への PE 制度紹介(2/18) 報告 (渉外部会) 4 3/10 名古屋 CPD セミナー実施報告 (正岡)
添付資料	添付 1. 添付 2. 添付 3.



議事内容	アクション
<p>● 審議事項</p> <p>1. 書記・承認者指名 (敬称略) 議長：土屋 書記：木村 議事録承認者：土屋、平山、川村</p> <p>2. 2月度議事録確認 承認</p> <p>3. 会員入会承認・退会確認 新入会員 PEN-0077 岩上 修 様 資格変更 なし 退会者 なし 資格喪失 なし 会員数 2月度理事会後 PE 159名 準PE 41名 FE 126名 AF 34名 ST 2名 合計362名 3月度理事会後 PE 159名 準PE 42名 FE 126名 AF 34名 ST 2名 合計363名</p> <p>4. 2011 年度着地/2012 年度予算内容再確認 会計部会が仮集計した予算案では支出が収入より約 17 万円多く (赤字) になっている。これについて以下の諸意見が出た。 ・支出と収入はバランスすべきで、各部会の企画小見直しが必要 ・収支バランスも大事だが、会の原点に立ち返って各部会の企画を見つめ直し、その結果多少の支出オーバは、会の積立金もあるので許容すべき ・安くない年会費を出している一般会員への還元として、年に一回程度の無料セミナー、以前やった PE ゆかりの海外ツアーなどを模索したい。JSPE が米国と密接なつながりをもっていることをもっとアピールできる企画、例えば来日した米人 PE に講演を頼むなども模索したい。 ・総会会場をもっと格式ある場所としたい → 来年度以降への宿題 ・世代交代などで退会、会費滞納者が出るのはある程度仕方ないが、年末にもメッセージカードを送るなど、理事会と会員とのコンタクトを増やしていきたい ・以上の意見を踏まえて、執行部にて次年度活動方針案、予算案を 3 月末までにまとめ、理事会メールに流す。(赤字許容 30 万円程度目安)</p> <p>5. 2011 年度事業報告書進捗 3/10 締切であった各部会年次報告がほとんど未提出なので、会計部会を除き遅くとも 3 月末までに提出する。部会報告以外のトピック記事締切りは 4 月末。</p> <p>6. 総会での会員表彰の提案 会員の参加意識、会員サービスの向上を目的として、会員表彰制度を復活させる。 手順は ①JSPE への貢献の大きい一般会員の自薦、他薦を理事会から呼びかける ②名前の挙がった会員から 5 月理事会で表彰者を選定 ③ 総会に招待し表彰 総務部会にて呼びかけメール文を作成する。</p>	<p>(議長)</p> <p>(総務部会)</p> <p>(会員部会)</p> <p>(会計部会)</p> <p>(企画部会)</p> <p>(総務、渉外)</p>



議事内容	アクション
<p>7. 広報部会業務のバックアップについて 部長海外赴任に伴い、西川理事負担が重くなるため、広報業務のうち HP アップ業務について、正岡理事が今後サポートする。また総会で理事補充を行うことも視野に入れる</p>	(広報部会)
<p>8. 「PE マニュアル (仮称)」 草稿レビュー 同草稿 (約 90 ページ) のポイントを川村理事より説明するとともに不完全な部分について各理事へ協力要請。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Engineer, Engineering の定義 : 「技術者」「工学」という和訳は必ずしも適切ではない。Washington/Dublin/Sydney accord について泉澤前理事作成した資料が参考になるのでは。ロンドン・アルバータホールの銅像には医者、弁護士など 6 つの職業の中にエンジニアも含まれる。正しい和訳を JSPE で案出しては? ・ PE 試験に関する記載は JPEC にレビューを依頼 ・ Q&A は最近の質疑を受け持っている平山理事担当 ・ 完成したら総会時に全会員無料配布とする。非会員用としてダイジェスト版を用意。非会員には有料配布とするか。あくまで会員にしか配布しないかは要検討。 ・ 完成、総会配布までは渉外部会が担当。以後のメンテは企画部会への移管を予定 	(渉外部会)
<p>9. 名古屋地区での PE セミナー 名古屋地区で PE セミナーを開催するにはどうすればよいかについてご意見をいただきたい (例: 大学に声をかける、名古屋の技術士会に声をかける)。目的: JSPE 会員の増加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名古屋地区の核になる人はできたので、理事はみな名古屋地区の知り合いを正岡さんに紹介する。 ・ まず、PE に興味を持っている大学の先生を見つけるのが良い。 ・ 丹下さんが名古屋工業大学の先生 (化学工学) と知り合いなので紹介する。 	(正岡)
<p>● 報告事項</p>	
<p>1. PE/FE 合格祝賀会 3月10日(土) 学士会館にて昨年10月試験の合格祝賀会開催。 PE 試験合格者 11 名、FE 試験合格者 17 名 (全員非会員) を含む合計 40 名参加。 あいにく JSPE 会員の PE 試験合格者 3 名全員の都合が合わず参加できなかったため合格者からの体験談発表は無かったが、その分時間に余裕があったため州登録プレゼンの後、自由に情報交換できる時間が 1 時間近く取れた。 4 月試験の合格祝賀会は 9 月 8 日 (土) を予約済み。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 祝賀会の感想として、祝賀会そのものは盛況であったが、結果としてその後の入会希望が来ていない (実際は数人はいる様子)。JPEC の印象が強すぎたせいか、参加者からの JSPE 入会の意思を感じられなかった。この原因に種々意見がでたが、結論として、各理事が問題を共有して合格者増の方策および祝賀会の位置づけを考えることと、少なくとも理事は会場で接触した参加者に直接入会を勧めること。 	(会員部会)
<p>2. Engineer' s Creed カード作製 1,000 枚作製、納品済み。まず現在の会員に配布した後、新入会員への送付用に会員証発行を担当している会員部会員に 50 枚程度送付予定。 会員への配布のタイミングとしては以下の三案が考えられる。事務局・総務と相談。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度会費振替用紙送付時 ・ 総会議案書送付時 ・ 総会で手渡し & 事業報告書送付時 ・ 1000 枚作成した。上記の作業のうち、いずれかの封筒に同封して送付する。どれにするかは事務局預かりで神野さんや鹿野さんに相談して決める。 	(会員部会)



議事内容	アクション
<p>3. 京都技術士会への PE 制度紹介 (2/18) 報告 技術士会員でもある会員の紹介により、2/18 京都技術士会月例会において「PE 資格の虚像と実像」と題して 70 名の聴衆を前に説明を行った。ホームページ掲示板にもアップ済み。多くの質問があった。技術士に加えて PE 取得も考えてみようという反応もあった。技術士 CPD の年間 50hr 要求は PE の年間 15Hr に比べ過大との声が技術士からも聞かれた。50Hr の根拠は公共工事落札条件の差別化が目的か？ 技術士試験が PE 試験に比べ著しく難関であること、これに対し PE でのみ有料更新が必要なことなどの違いもクローズアップされた。 (会長)「虚像」の意図は？ → (渉外) 日本に比べて米国での PE は万能という誤解をしている技術士も散見するので、コミュニケーションの壁を取り除く意味で「虚像と実像」という観点とした</p> <p>4. 3/10 名古屋 CPD セミナー実施報告 実施日時： 3月10日(土) 13:00~15:00 場所： 愛知県刈谷市 ディースクエア 内容： (1)海外プロジェクトにおけるコミュニケーションマネジメント その2 (正岡 PE・PMP) (2)産業用サーボモータ概論 (馬場丈典 PEN) 参加： PE 会員 2 名+講師 2 名 発行 PDH： 会員 2.0、講師 (正岡) 1.0、講師 (馬場) 3.0 ・今後の方策を含めて助言が寄せられた (審議事項参照)</p> <p>その他として、 ① 慶弔規定を作成したほうが良いのではないかと 担当未定 ② 日野さんが溜池の事務所に無線 LAN 環境を設定した。ネットワーク名は WiFi_at_Home (パブリックサービス)、パスワードは*****</p> <p>・次回 4月21日(土)</p>	<p>(渉外部会)</p> <p>(正岡)</p>

承認	土屋 雅彦	
承認	平山 剛士	
承認	川村 武也	
記録作成	木村 一夫	